

大切な自然

甲賀市の自然

パートII

甲賀市内の大切な自然が存在する地域について紹介します

●第9回●
甲賀市の貴重な湿原

市内の湿原



▲ハッチョウトンボ
■サギソウ

湿原と聞くと、ミズバショウで有名な「尾瀬」など、美しい花が咲く、風景の素晴らしい、特別な所を思い浮かべる方も多いでしょう。

しかし、市内にも、面積は小さいながら、学術的に、大変貴重な湿原が存在します。

市内の湿原は、ゆるやかな谷の地形に、栄養の少ない湧き水の影響で、背丈の低い草原ができた、湧水湿地が主なもので、信楽や鈴鹿の山すそに点在します。

湿原の代表的な植物としては、園芸品種もある「サギソウ」が、本来こうした場所に生える草です。また、滋賀県では市内の湿原にしかない、「サギスゲ」という植物もあります。昆虫では、日本一小さい、1円玉サイズの「ハッチョウトンボ」が特有なトンボです。

谷あいの小さな湿地は、昔は田んぼに開発され、近

年は、土砂の処分場になるなど、減っています。また、湿原の動植物は、限られた湿原の範囲内にすむため、絶滅が心配される種が多く、採集は厳禁です。人の手で栽培されるよりも、野生の状態で存在することに、本当の価値があります。

こうした貴重な湿原と動植物を保全する活動が市内でも始まっています。

7月の休園日

7日(月)、14日(月)、15日(火)
22日(火)、28日(月)

15日(火)は特別展準備のための臨時休園です

みなくち子どもの森自然館

☎ 63-6712 FAX 63-0466

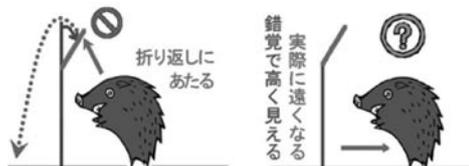
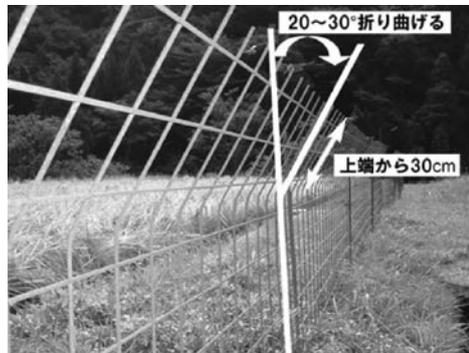
鳥獣害対策ニューズ

No.13

今回の鳥獣害対策ニューズは防除対策の一つとして、国の試験研究機関で開発されたイノシシ用の侵入防止柵について紹介します。

イノシシのジャンプは助走をつけずにその場から踏み切るという特徴があります。その特徴を利用したイノシシ用の効果的な侵入防止柵が「金網忍び返し柵」です。

この柵は高さ1メートルで、10センチ格子の溶接金網（ワイヤメッシュ）に忍び返し状の折り返しをつけてイノシシの跳躍侵入を防ぐもので、折り返しは上部30センチを外側へ30度程度折り返します。



▲「近畿中国四国農業研究センター」資料より

イノシシは約1メートルの高さをジャンプすることができ、折り返すことで、超えようとするとき頂点が覆いかぶさるので、柵に当たります。また、イノシシの視点からは錯覚で、折り返していないものよりも高く見えるので、踏み切り位置を後ろにずらすため、越えることができません。

○設置作業：

1〜2メートル間隔で支柱をうち、溶接金網を針金等で固定します。

○ポイント：

障害物が奥行きを持って複雑になっていくと、イノシシは飛び越えずに潜

り抜けようとするので、折り返しのないようにペグ等で補強してください。（イノシシは鼻の力が非常に強く成獣で80キログラムの重さを持ち上げられます。）また、トタン板をすでに使っている場合は、それをやめずに、その内側に溶接金網を張ることで、トタン板による目隠し効果を得られます。また、折り返しをできなくすることもできます。

問い合わせ

農業振興課 鳥獣害対策係
☎ 65-0734 FAX 63-4592